

令和5年第2回定例教育委員会

令和5年2月17日（金）午前10時03分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長 委員 委員 委員 委員	黒川淳司 支部英孝 林大輔 須田壽美江 麓美絵	説明員	教育部長 教育部次長 学校教育支援室長 総務課長 学校教育課長 学校教育課参事 教育支援課長 給食センター長 対雁調理場長 生涯学習課長 スポーツ課長 スポーツ課参事 情報図書館長 郷土資料館長 郷土資料館参事 記録員 傍聴者	伊藤忠信 佐藤学 中島桂一 山崎浩克 川口直也 浅木義博 清水さおり 根廻哲哉 佐藤友彦 田中紀克 堀井修典 稲垣恭典 表誠 櫛田智幸 兼平一志 河崎真大 なし
-----	-----------------------------	-------------------------------------	-----	---	--

1 報告事項

- (1) 教職員住宅における漏水事故について
- (2) 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
- (3) 令和4年度江別市青少年文化賞等の表彰について
- (4) 令和4年度江別市青少年スポーツ賞等の表彰について
- (5) 令和5年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画について
- (6) 令和4年度江別市一般会計補正予算の査定について

2 その他

- 次回教育委員会予定案件について
- 令和5年第3回定例教育委員会の日程について

会 議 録

黒川教育長

(開会)

ただいまから、令和5年第2回定例教育委員会を開会いたします。

本日の議事日程は、配付のとおりであります。

会議に先立ち、本日の会議録署名人を、麓委員にお願いいたします。

議事に入ります前に、お諮りしたい事項がございます。

本日の報告事項のうち、報告事項(3)及び(4)については、関連がありますことから、一括説明・一括質疑として進めてよろしいでしょうか。

(異議なし)

そのように確認いたします。

それでは、議事に入ります。

1の報告事項(1)教職員住宅における漏水事故についての報告を求めます。

山崎総務課長お願いします。

山崎総務課長

教職員住宅における漏水事故について、ご報告いたします。

資料の1ページをご覧ください。

1 事故の概要であります。発生場所は大麻栄町教職員住宅B棟、これは大麻栄町19番地3にある鉄筋コンクリート造4階建、住戸数16戸、うち入居中8戸の建物であります。発生日は令和5年2月8日水曜日、漏水箇所は共用階段4階のパイプスペース内にある上水道メーター2個であります。

次に、2 経過であります。2月8日の11時30分頃、B棟入居者から共用階段で水が漏れている旨の電話連絡があり、11時40分頃、総務課職員が現地に到着したところ、西側共用階段4階のパイプスペース内で上水道メーターから水が噴出し、階段を流れ、1階共用玄関から屋外へ流出している状況を確認しました。このため、パイプスペース内の止水バルブを閉め、止水のうえ、メーター2個を調査したところ、凍結により内部からの圧力で破裂したと判明したものです。

総務課では止水作業に並行し、直ちに入居者へ連絡して、各住戸内の浸水の有無を調査した結果、1階から3階の入居中4戸、未入居5戸、計9戸で浸水を確認しました。

2月9日、入居者から家財等の被害状況や今後の意向等に関する聞き取りを開始、また、各住戸内の浸水範囲等の調査を開始しました。

2月15日には、被害を受けた入居者で希望する方に、当面の滞在先としてホテルの提供を開始しました。

ここで裏面の2ページをご覧ください。

上段左は大麻栄町教職員住宅の位置図、また、下段はB棟の平面図であり、漏水箇所の位置は記載のとおりです。

上段右は、漏水箇所であるパイプスペース内部の写真であります。写真右のとおり、403号室と404号室の上水道メーターが設置されており、その左側に止水バルブ、右側に水抜きバルブがあります。このメーター2個が凍結により破裂したものであります。なお、実際の現場では、調査のためメーターを取り外したことから、資料では3階のパイプスペースの写真を用いて現場を再現しております。

3ページをご覧ください。

左は入居状況と浸水範囲を記載しております。前段のとおり、4階建、住戸数16戸、うち入居中8戸の建物であり、浸水の範囲は網掛け部分、1階から3階の入居中4戸、未入居5戸、計9戸であります。

右は被害状況です。詳細は現在調査中ですが、入居者ごとの被害の概要としましては記載のとおりです。

それでは、1ページにお戻り願います。

中段よりやや下の3 漏水の原因であります。教育部といたしましては、本件の原因について、403号室及び404号室の入居者退去時に、総務課がパイプスペース内にある上水道止水バルブ等により水抜き作業をしていなかったため、今回、水道メーターが凍結し破裂したものと考えております。なお、入居者が退去した時期は、403号室が平成27年3月、404号室が平成31年3月です。

次に、4 今後の対応等あります。被害を受けた入居者の意向等を確認し、居住の確保など必要な支援を行ってまいります。また、家財などの損害に対する賠償については、

	<p>市総務部と協議しながら、迅速に対応を進めてまいります。</p> <p>次に、5 再発防止策であります。2月8日に大麻栄町教職員住宅全棟で、未入居住戸の上水道止水バルブ等の点検を実施しました。また、総務課ではこれまでも4月の人事異動を前に、入居希望者に紹介できるような未入居住戸の点検を行っていたところですが、これに加え、今後は、教職員の異動時期が終わり、未入居住戸が揃う時期として概ね4月下旬と、冬期間を迎える前として概ね11月頃の年2回、上水道配管の止水を含め、未入居住戸内などの点検を定期的実施し、再発防止に努めて行く考えです。</p> <p>以上です。</p>
黒川教育長	<p>ただいま報告のありました、教職員住宅における漏水事故について、質問等がございましたらお受けします。</p>
支部委員	<p>まず、2ページの写真を見ますと、水道メーターが写っておりますが、水道メーターの管理というのは建物の管理となっているのか、水道部の管理となっているのか、どちらなのでしょう。その管理の仕方でも未然に防げなかったのかという思いがあり、その点をお聞きしたいです。</p>
山崎総務課長	<p>まず、建物の管理としましては、教育部総務課で行っております。ただ、住戸内にお住まいの方がいらっしゃる場合、その専有している部分については借りている方に管理していただくこととなります。今回のパイプスペースがどこの部屋のものかと考えますと、403号室と404号室は現在、未入居でありますので、貸主である市側に管理責任があると考えております。ただ、この水道メーターの部分だけは、水道部が所有しているということになり、水道部によると水道メーターは8年に1回交換するというようになっており、そのときは、パイプスペース内の鍵を教育部から水道部に貸すか、住んでいる方から鍵を借りるかということで水道メーターを交換するということがあります。今回の漏水は、総務課で水抜き作業をしておらず、そのバルブのある水道メーターの両側の配管は建物の管理になるということで、責任は江別市にあるということでございます。</p>
支部委員	<p>今後、入退室のときの管理方法を見直しておかなければ、また同じことが起こるのではないかと考えています。管理方法や保守点検の方法を考えておかなければ、非常に余計な費用が掛かってしまうので、今後、管理体制のシステムを構築しておく必要があるのではないかと考えているのですが、いかがでしょうか。</p>
山崎総務課長	<p>今まで、未入居の部屋につきましては、次の人事異動に向けて、だいたい2月から3月くらいにかけて、部屋の状況等を確認していたのですが、ガス、水道、電気は契約しないと使えないものということですので、先入観として、水が出るか等の点検はしていなかったというのが実際のところでございます。今回、このようなことが起こりましたので、水がしっかり閉まっているかどうかなども含めて、定期的に点検を実施する必要があると考えております。この定期的な点検につきましては、先ほどの入居する前、退去した後の点検とは別に、冬になる前と人事異動が終わって未入居が揃った時期に、年2回行うことで点検を強化していきたいと考えているところです。</p>
支部委員	<p>わかりました。チェックの期間を再構築した方が良かったかと思っていました。また、写真からガスメーターが見えるのですが、今回、ガスは漏れませんでした。この建物はプロパンなのでしょうか、都市ガスなのでしょうか。</p>
山崎総務課長	<p>都市ガスでございます。</p>
支部委員	<p>都市ガスであれば旭川ガスと思いますが、ガスメーターの管理も確認しておかなければ、未入居のためにガスが漏れて充満するという可能性はゼロとは言えないので、定期的に管理をしておけば、傷も浅くて済むと思います。また、電気の漏洩なども含めて、保守管理の見直しを行ってほしいと思います。</p>
伊藤教育部長	<p>今、年2回点検を行うとご説明させていただきましたが、今後は、チェックリストを作成して、誰がいつ、どのように点検したのか、電気やガスも含めてチェック項目を作って、リスト化した点検結果を残すような形にしていきたいと考えております。</p>
支部委員	<p>未入居の状態が続きますと、1階の入口も鍵が掛かっておらず、廊下に入っていける状態ですので、3階や4階に不審者が侵入することも考えられますので、その点も含めて管理方法を検討していただければと思います。</p>
黒川教育長	<p>ほかに質問等はございませんか。 (質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p>

川口学校教育
課長

(一同了承)

次に、報告事項(2)令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果についての報告を求めます。

川口学校教育課長をお願いします。

報告事項(2)令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果についてご説明いたします。

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、スポーツ庁の実施要領に基づき、4月から7月にかけて、各学校において実施しております。

令和5年1月に、スポーツ庁から江別市教育委員会に集計結果が送付されたことから、その内容を分析した結果について、ご報告いたします。

資料の1ページをご覧ください。

調査の概要については、記載のとおりです。

次に、3ページをご覧ください。体格と肥満度に関する調査の結果でございます。

一番上の四角で囲んだ部分は、調査結果の概要を、中段の表は男子のデータを、下段の表は女子のデータを記載しております。

データについては、今年度の江別市の数値と、全国平均値50.0に対する相対的な位置を示すT得点を掲載したほか、全国・北海道の数値や、江別市の令和3年度の数値を参考に併記しております。

小学校では、身長は、男子・女子ともに全国平均とほぼ同程度であり、体重は、男子が全国平均を上回り、女子は全国平均とほぼ同程度であります。

肥満瘦身傾向については、全国平均との比較で、男子は肥満傾向が7.3ポイント上回り、女子は全国平均とほぼ同程度となっております。

次に、4ページをご覧ください。

中学校では、身長は、男子は全国平均をやや上回り、女子は全国平均とほぼ同程度であり、体重は、男子が全国平均をやや上回り、女子は全国平均とほぼ同程度であります。

肥満瘦身傾向については、全国平均との比較で、男子は肥満傾向は全国平均を上回り、瘦身傾向はほぼ同程度であり、女子は肥満傾向は全国平均を下回り、瘦身傾向が上回っております。

次に実技検査の結果について、5ページから8ページにかけて記載しております。

5ページをご覧ください。

一番上の四角で囲んだ部分は、調査結果の概要を、その下の表は、各種目の成績とその点数を合計した体力合計点などのデータを、その下の縦の棒グラフは、各種目のT得点を、その下の横の棒グラフは、良いほうから順にAからEまで5段階で評定した体力の総合評価を表しています。

中段にあります、「実技調査T得点(男子)」のグラフをご覧ください。

50の横棒のラインが全国平均、左側の棒グラフが北海道平均、右側の棒グラフが江別市平均となっております。全国平均と比較した江別市の児童生徒の特徴としましては、小学校男子では、握力は「上回り」、50m走は「下回って」おります。体力合計点のT得点は50.1で、全国平均と「ほぼ同程度」となりました。

次に6ページをご覧ください。

小学校女子では、握力とソフトボール投げで「上回り」、50m走は「下回って」おります。体力合計点のT得点は50.4で、全国平均と「ほぼ同程度」となりました。

次に7ページをご覧ください。

中学校男子では、握力、ハンドボール投げが「上回り」、持久走は「下回って」おります。体力合計点のT得点は50.3で、全国平均と「ほぼ同程度」となりました。

次に8ページをご覧ください。

中学校女子では、握力、持久走が「上回り」、50m走は「下回って」おります。

体力合計点のT得点は50.0で、全国平均と「同程度」となりました。

次に、9ページから14ページは、児童生徒質問紙調査の結果でございます。9ページから11ページには小学校、12ページから14ページには中学校に対する質問紙調査の結果を記載しております。左側に男子のグラフ、右側に女子のグラフを配置しております。

次に、15ページから17ページは、学校質問紙調査の結果でございます。

左側に小学校のグラフ、右側に中学校のグラフを配置しております。

	<p>続いて、最後のページをご覧ください。</p> <p>この調査をもとに、江別市「体力改善支援プラン」として、まとめたものでございます。</p> <p>調査の結果、明らかになった課題については、イの実技にありますように、「50m走」では、小学校男子・女子、中学校女子が全国平均を下回っていることから、今後も、疾走能力、全身持久力などを養う運動に一層力を入れていく必要があります。</p> <p>オは現状における特徴的な課題について記載しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に体力合計点が低下しているなか、感染症対策を徹底しながら体力・運動能力等の向上に取り組み、体力合計点は小中男女とも全国平均以上となりましたが、全国平均との比較だけではなく、実測値の経年変化を踏まえながら、児童・生徒が自ら体力・運動能力の向上を意識できるよう、家庭等と連携した取組を進める必要があります。</p> <p>資料の下段、左側は課題解決に向けた学校の取り組みであり、小中一貫教育に基づく「体力改善プラン」の作成と実施のほか、体育科の授業改善等に取り組む必要があると考えております。</p> <p>右側が、学校に対する教育委員会の支援であり、北翔大学と連携した「走り方教室」や「体力向上プログラム」出前授業の実施のほか、ICT環境の整備と研修の充実によるICTの活用など、各種取組を進め、児童生徒の体力向上を図っていきたくと考えております。</p> <p>なお、この調査結果及び体力改善支援プランについては、各学校に情報提供を行い、今後の体力向上の取組に役立てていきたくと考えております。</p> <p>以上です。</p>
黒川教育長	<p>ただいま報告のありました、令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項(3)令和4年度江別市青少年文化賞等の表彰について、及び(4)令和4年度江別市青少年スポーツ賞等の表彰について、以上2件を一括して報告を求めます。</p> <p>田中生涯学習課長お願いします。</p>
田中生涯学習課長	<p>報告事項(3)令和4年度江別市青少年文化賞等の表彰についてご報告いたします。</p> <p>この賞は、芸術・文化の分野において活躍の著しい青少年に対し、成績に応じた賞を贈るものです。</p> <p>資料4ページをご覧ください。</p> <p>青少年文化賞候補者の選考基準ですが、文化賞の受賞者は、全国規模の大会等で3位以内に相当する成績を収めた候補者を、庁議の意見を聴き、市長が決定しております。</p> <p>また、文化奨励賞受賞者は、全道規模の大会等で優勝、又はそれに相当する成績を収めた候補者を市長が決定しております。さらに、教育委員会賞受賞者は、全道規模の大会等で2位、3位の成績を収めた候補者を教育長が決定しております。</p> <p>昨年の12月から本年1月6日までの推薦受付期間を設け、広報えべつや市ホームページでの周知のほか、小中学校、高等学校、大学及び各種団体に推薦を依頼し、推薦された候補者の事績内容等を確認しました。</p> <p>年齢等の要件は、文化賞・文化奨励賞につきましては、小学生以上24歳まで、教育委員会賞の文化部門につきましては、小・中・高校生としております。</p> <p>今年度の表彰に関する事績の対象期間は、原則として令和4年1月1日から12月31日の1年間としております。</p> <p>今年度の受賞者につきましては、資料1ページに文化賞の4個人と文化奨励賞の9個人、資料2ページに文化奨励賞の2団体と教育委員会賞文化部門の9個人及び3団体を記載しております。各賞及びそれぞれの受賞者の氏名、事績等につきましては、記載のとおりでありますので、ご参照いただきたいと存じます。</p> <p>また、参考資料としまして、年度別の受賞者数統計を3ページに添付しておりますので、併せてご参照ください。</p> <p>以上です。</p>
黒川教育長	<p>堀井スポーツ課長お願いします。</p>

堀井スポーツ課長	<p>報告の前に1点、資料の訂正があります。資料2ページの個人部門の上から4番目の橋本大輔さんについて、ジャンルがバドミントンとなっておりますが、正しくは体操です。申し訳ございませんが、訂正をお願いいたします。</p> <p>それでは引き続き、私から報告事項(4)令和4年度江別市青少年スポーツ賞等の表彰についてご報告いたします。</p> <p>この賞はスポーツの分野において、活躍の著しい青少年に対し、成績に応じた賞を贈るものです。</p> <p>資料の7ページをご覧ください。</p> <p>候補者選考項目基準のうち、各賞の基準や決定方法、推薦受付期間、事績の対象期間は、文化賞等と同様ですが、年齢等の要件が文化賞等とは違い、スポーツ賞、スポーツ奨励賞は小学生以上、大学生などを除く19歳未満、教育委員会賞のスポーツ部門は小学生・中学生としております。</p> <p>今回の受賞者につきましては、1ページにスポーツ賞の2個人1団体を、2ページから3ページにかけてスポーツ奨励賞の6個人13団体を、4ページから5ページにかけて教育委員会賞スポーツ部門の13個人11団体を掲載しております。</p> <p>各賞及びそれぞれの受賞者の氏名、事績等につきましては、記載のとおりでありますので、ご参照いただきたいと思います。</p> <p>また、参考資料としまして、年度別の受賞者数統計を6ページに添付しておりますので、併せてご参照ください。</p> <p>なお、文化賞及びスポーツ賞等の贈呈式は、2月25日土曜日にえぼあホールで開催予定です。</p> <p>以上です。</p>
黒川教育長	<p>ただいま報告のありました、報告事項(3)及び(4)の2件について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項(5)令和5年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画についての報告を求めます。</p> <p>堀井スポーツ課長お願いします。</p>
堀井スポーツ課長	<p>報告事項(4)令和5年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画についてご報告いたします。</p> <p>資料の「事業計画書」をご覧ください。</p> <p>令和5年度の事業計画につきましては、財団の理事会並びに評議員会の議決を経て、市に提出されたものであります。</p> <p>事業計画書の1ページをお開きください。</p> <p>初めに、「1. 総括」についてであります。令和5年度の事業計画は、「市民皆スポーツ」をさらに推進するため、各種スポーツ教室及びスポーツ大会等を開催するとともに、市民体育館をはじめとする屋内体育施設や都市公園施設等の指定管理者として、市民サービスの向上に向けた管理運営を行うものであります。</p> <p>次に、「2. スポーツ教室等開催事業」から4ページの「7. 自主事業」までは、令和5年度に予定している事業内容を記載しております。事業運営に当たりましては、これまでどおり利用者の利便性に配慮した弾力性のある運営とサービスの提供を図りながら、施設の利用を促進するとともに、利用者に満足していただけるよう努めていくこととしております。</p> <p>次に、5ページ及び6ページをお開き願います。</p> <p>令和4年度収支予定表の1 予定収支予算書につきまして、まず、5ページの収入の部がありますが、1の基本財産運用収入は、利息収入の1千円を、2の事業収入は、スポーツ大会参加料等の補助事業収入、屋外体育施設の維持管理業務等の受託事業収入、市民体育館をはじめとする屋内体育施設等の指定管理料や利用料金等の指定管理事業収入として、3億1,050万3千円を予定しております。</p> <p>また、3の補助金収入は、江別市からの補助金として4,098万9千円を予定し、4の雑収入300万1千円を加え、当期収入合計額は、3億5,449万4千円を予定して</p>

黒川教育長	<p>いるものであります。</p> <p>次に、6ページに移りまして、支出の部であります、1の補助事業費は、スポーツ大会開催事業費、健康体力づくり指導相談事業費、スポーツ指導者養成事業費及び事業管理費として4,404万6千円を、2の受託事業費は、屋外体育施設等の管理業務受託事業費として1,585万8千円を、3の指定管理運営費は、指定管理施設の管理運営費として2億9,226万1千円を、4の自主事業費は、事業に係る経費として227万9千円を、5の予備費として5万円を予定しており、その結果、当期支出合計額は、3億5,449万4千円となるものであります。</p> <p>なお、7ページに予定正味財産増減計算書を、8ページに予定貸借対照表を、それぞれ記載しておりますので、ご参照ください。</p> <p>以上です。</p> <p>ただいま報告のありました、令和5年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項(6)令和4年度江別市一般会計補正予算の査定についての報告を求めます。</p>
山崎総務課長	<p>山崎総務課長お願いします。</p> <p>報告事項(6)令和4年度江別市一般会計補正予算の査定について、ご報告いたします。資料をご覧ください。</p> <p>前回の定例教育委員会におきまして、第1回市議会定例会に提出を予定している一般会計補正予算のうち、教育委員会所管分につきまして、財政部局の査定前の内容でご説明いたしました。過日、査定結果の通知を受けました。</p> <p>7款1項 商工費、「コミュニティセンター管理運営事業」以下、記載の計9事業はいずれも要求どおりの査定となっております。</p> <p>教育部補正額の合計は、7億9,876万8千円の増額となるものであります。</p> <p>今後は、2月22日から開催される第1回市議会定例会で審議の上、承認されることにより、補正予算として確定いたします。</p> <p>以上です。</p>
黒川教育長	<p>ただいま報告のありました、令和4年度江別市一般会計補正予算の査定について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>続いて、2のその他、次回教育委員会予定案件及び日程について、説明願います。</p>
山崎総務課長	<p>山崎総務課長お願いします。</p> <p>次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、令和5年第1回江別市議会定例会の一般質問について、旧町村農場保存活用推進事業についてなどを予定しております。</p>
黒川教育長	<p>また、次回の定例教育委員会の日程でございますが、3月29日水曜日午前10時からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p> <p>ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は3月29日水曜日午前10時からということで、皆様よろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>以上をもちまして、第2回定例教育委員会を終了いたします。</p> <p>(閉会)</p>

終了 午前10時44分

署名人(教育長) 黒川 淳 司

署 名 人 麓 美 絵